

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標5_人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ】

施策 5-4_近代化産業遺産の保存活用・整備の充実

	基本計画	事業番号	細事業名称
5-04-01	別子銅山近代化産業遺産の保存活用・整備の推進	02633_01	端出場水力発電所管理運営費
5-04-01	別子銅山近代化産業遺産の保存活用・整備の推進	02639_01	山田社宅管理運営費
5-04-01	別子銅山近代化産業遺産の保存活用・整備の推進	10577_01	旧広瀬邸等保存活用事業
5-04-01	別子銅山近代化産業遺産の保存活用・整備の推進	10607_01	広瀬歴史記念館施設環境整備事業
5-04-02	別子銅山の歴史の伝承・情報発信	10316_01	広瀬歴史記念館充実事業
5-04-03	多喜浜塩田文化の保存・継承	10543_01	多喜浜塩のまちづくり事業補助金

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	02633_01
事業名(行目名称)		端出場水力発電所管理運営費		端出場水力発電所管理運営費		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策		
	基本計画	別子銅山近代化産業遺産の保存活用・整備の推進		担当課		
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内外観光交流人口(マイントピア別子来場者数)			数値	376,545人
	手段(どうやって)	旧端出場水力発電所について、適正に施設の管理運営を行う。 施設の管理運営をより効果効率的に行うため、指定管理者により管理運営を行う。				
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子銅山産業遺産である旧端出場水力発電所を保存活用することで、別子銅山の歴史的価値を後世に継承するとともに、学術や文化の向上、観光の振興に資するための施設とする。				
III 投入費用						
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	<ul style="list-style-type: none"> ○需用費 250千円 ○役員費 51千円 ○委託料 12,636千円 ○使用料及び賃借料 134千円
経費		7,806	13,071	13,071	12,214	
財源	県・国支出金	0	0	0	0	
	地方債		0	0		
	その他	0	0	0	0	
一般財源		7,806	13,071	13,071	12,214	
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度
施設見学者数			目標値	—	40000	40000
			実績	—	35414	20919
V 事中評価						
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			やや高い
旧端出場水力発電所について、令和6年度より、指定管理者((株)マイントピア別子)による管理運営を行っており、効果効率的な管理運営が行われているが、施設見学者数は目標値に到達していない。指定管理者と連携協力し、施設見学者数の維持や増加に取り組む必要がある。						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持			
旧端出場水力発電所について、適正かつ効果効率的に管理運営を行うほか、施設来場者の満足度向上、安全性確保のため、令和6年度と同程度の予算を要望する。						
VI 事後評価						
成果		総合評価(令和6年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当		
旧端出場水力発電所の適正かつ効果効率的な管理運営を行い、別子銅山の歴史的価値の認知向上や、マイントピア別子端出場ゾーンをはじめとする産業遺産観光の振興に貢献することができた。しかし、旧端出場水力発電所はオープンから2年目を迎え、令和6年度見学者数は前年度から減少した。今後は指定管理者と連携し、より効果効率的な施設運営を進めるとともに、積極的な情報発信に努めていく。						

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	02639_01	
事業名(行目名称)		山田社宅管理運営費		細事業名 山田社宅管理運営費			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策 近代化産業遺産の保存活用・整備の充実			
	基本計画	別子銅山近代化産業遺産の保存活用・整備の推進		担当課 別子銅山文化遺産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内外観光交流人口(マイントピア別子来場者数)			数値	376,545人	
	手段(どうやって)	令和8年度以降のオープンに向け、建物耐震改修工事や外構工事、学識経験者による調査・聞き取り等を実施しながら施設を維持管理し、一部施設の限定公開を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子銅山産業遺産である住友山田社宅を保存活用することで、別子銅山の歴史的価値を後世に継承するとともに、学術や文化の向上、観光の振興に資するための施設とする。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		8,913	9,682	9,682	8,831	<ul style="list-style-type: none"> ○旅費 138千円 ○需用費 677千円 ○役員費 139千円 ○委託料 4,528千円 ○使用料及び賃借料 4,200千円 	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	8,913	9,682	9,682	8,831		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
施設見学者数			目標値	—	400	300	600
			実績	—	318	220	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
施設がフルオープンするまでの間も、整備工事を行いながら限定公開を継続するため、公開部分を含め敷地内の安全で適正な維持管理が必要である。また、工事に対する来館者への安全対策などを講じる必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
内容を精査しながら適正な維持管理が必要となるが、工事が完了した建物についても、維持管理が必要となる。また、限定公開についても、精査・検討が必要であり、ガイド案内など運用体制についても、今後、適正な管理が必要となる。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
住友山田社宅の清掃や剪定、除草等を行い、適正に管理運営を行うことができた。また、住友山田社宅のガイド事業の実施により、別子銅山の歴史的価値の認知、別子銅山産業遺産関連の観光の振興に寄与することができた。しかし、施設見学者数は目標値を下回った。今後も引き続き住友山田社宅の適正な管理運営を行うとともに、正式オープンに向けて周辺整備工事等を推進する。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	10577_01		
事業名(行目名称)		旧広瀬邸等保存活用事業		細事業名 旧広瀬邸等保存活用事業				
総合 計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策 近代化産業遺産の保存活用・整備の充実				
	基本計画	別子銅山近代化産業遺産の保存活用・整備の推進		担当課 別子銅山文化遺産課				
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対象(誰・何を)	旧広瀬邸等			数値	1件		
	手段(どうやって)	文化庁補助事業として、国指定名勝旧広瀬氏庭園南煉瓦塀について、耐震補強案(支障の樹木伐採範囲及び煉瓦の積直し範囲の確定含む)検討のための実施設計を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	上記の結果を基に、(名)旧広瀬氏庭園南煉瓦塀の耐震補強等工事を実施し、隣接道路通行の安全性を確保する。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		0	10,496	10,496	9,952	<ul style="list-style-type: none"> ○職員手当等 73千円 ○報償費 80千円 ○旅費 602千円 ○需用費 10千円 ○委託料 9,731千円 		
財源	県・国支出金	0	5,000	5,000	4,939			
	地方債		4,900	4,900	4,400			
	その他	0	596	596	613			
	一般財源	0	0	0	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
委員会開催回数			目標値	2	0	2	2	2
			実績	2	0	0	2	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>現在補強案は未確定であるが、来年度の工事実施(国への補助事業計画提出)に向けて、早急に補強方法及び事業費の確定が必要である。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
<p>今年度の実施設計に基づき工事を実施することになるが、隣接道路通行の安全性確保の観点から、早急な対応が必要であるため、緊急性の高い箇所を第1期工事として実施する。</p>								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>文化庁補助事業として、国指定名勝旧広瀬氏庭園の構成要素である南煉瓦塀の耐震補強等工事のための実施設計を行った。耐震補強及び補修方針等の決定にあたっては、専門委員会を開催し、外部有識者の専門的な知見を得るとともに、文化庁、愛媛県教育委員会文化財保護課の指導を得た。(南煉瓦塀は、市道に面しているため、通行者等の安全性確保を最優先とし、かつ、意匠性にも配慮する等、現況に応じて補強方針を組み合わせた。)</p>								

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	10607_01		
事業名(行目名称)		広瀬歴史記念館施設環境整備事業		細事業名	広瀬歴史記念館施設環境整備事業			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	近代化産業遺産の保存活用・整備の充実			
	基本計画	別子銅山近代化産業遺産の保存活用・整備の推進		担当課	別子銅山文化遺産課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	広瀬歴史記念館			数値	一式		
	手段(どうやって)	(展示館)映像装置モニター改修 (旧広瀬邸)醤油庫西面外壁修繕						
	目的(どんな状態にしたいのか)	長寿命化計画に基づいた計画的な修繕を行うことで、施設環境の向上を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○需用費 1,666千円		
経費		99,944	1,666	1,666	1,391			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	89,900	0	0	0			
	その他	10,044	0	0	0			
	一般財源	0	1,666	1,666	1,391			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
契約締結件数			目標値	0	2	2	2	1
			実績	0	2	1	2	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>展示館の映像装置モニター改修により、快適な観覧環境を確保することができた一方、展示館は平成9年のオープンから25年以上が経過し、経年劣化による故障、特に設備更新の必要性が高まっている。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>国際条約で2027年末までに一般照明用蛍光灯ランプの製造、輸出入が禁止となるため、展示館(記念室等)の照明設備を、蛍光灯から電気消費量の少ないLED照明に更新し、コスト削減を図る。</p>								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>計画的な修繕により、展示館展示室の映像装置モニター等や国指定名勝旧広瀬氏庭園の構成要素(建造物)である醤油庫の西面外壁改修を実施し、施設の良好な維持管理を図った。今後も計画的な修繕を進め、施設環境の向上を図る。</p>								

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	10316_01		
事業名(行目名称)		広瀬歴史記念館充実費		細事業名 広瀬歴史記念館充実事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策 近代化産業遺産の保存活用・整備の充実				
	基本計画	別子銅山の歴史の伝承・情報発信		担当課 別子銅山文化遺産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民			数値	113,050人		
	手段(どうやって)	調査・研究に基づき、企画展・講座・講演会を開催し、教育普及に努める。企画展開催期間中に記念講演会、記念茶会等を実施することにより、近代化産業遺産及び歴史に対する興味を深める。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	近代化産業遺産に関する資料の調査・収集・研究を進め、企画展や教育活動の普及を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費 40千円 ○旅費 201千円 ○需用費 725千円 ○役務費 57千円 ○委託料 1,816千円 		
経費		2,426	2,839	2,839	2,633			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	2,839	2,839	2,633			
一般財源		2,426	0	0	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
企画展観覧者数			目標値	1500	3000	3000	3000	3000
			実績	1432	1802	0	2267	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>10月19日から12月15日まで、広瀬歴史記念館において、特別企画展「広瀬幸平の上原開発150年 重要文化財・名勝 旧広瀬邸 保存活用計画 令和の大改修 始まる ～近代和風建築と庭園のさきがけ～」を開催予定である。昨年と同様、関連イベント(記念講演会、記念茶会等)を行う予定である。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>観覧者の満足度向上のため、令和6年度と同程度の予算を要望する。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>令和6年10月19日から同年12月15日まで特別企画展を開催、また講演会や台所喫茶などの関連イベントを実施し、来場者に近代化産業遺産及び歴史に興味をもってもらうことができた。 会期中の来館者数は、2,267人であった。</p>								

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	10543_01		
事業名(行目名称)		塩のまちづくり事業費	細事業名	多喜浜塩のまちづくり事業補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	近代化産業遺産の保存活用・整備の充実			
	基本計画	多喜浜塩田文化の保存・継承	担当課	社会教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	多喜浜校区住民及び市内外の塩文化に関心のある人		数値	3670人		
	手段(どうやって)	①学校敷地内に設置されたミニ流下式塩田「ソルティ多喜浜」への維持・管理 ②多喜浜小学校児童のESDの取り組みへの協力。③市内小学6年生対象のふるさと学習(塩田学習)の実施への協力。④「塩の学習館」を利用した塩づくり体験の実施と多喜浜塩田遺跡巡り等の対応。⑤「ソルティ多喜浜」「塩の学習館」「多喜浜資料展示室」の見学者への対応。⑥塩田かるたを通して地域の子どもたちへの多喜浜塩田の保存継承活動の実施。⑦多喜浜小学校児童を対象とした「塩田讃歌」踊りの普及事業の実施。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	近代化産業遺産である塩田の文化を後世に伝えるために、子どもから高齢者まですべての世代が協力し、その発掘を保存伝承を図ること、ふるさとへの誇りと愛着を深める。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 190千円	
経費		190	190	190	190		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	190	190	190	190		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
参加者数(延べ人数) (ふるさと学習を含む)		目標値	2000	1000	500	1000	1000
		実績	669	601	516	1221	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>これまでも継続して活動内容のマニュアルの作成や、塩田遺跡巡り等の事業内容の見直しを行うことにより、事業の中心を担う人材の育成に努めている。参加者数については、市内小学校5・6年生を対象としたふるさと学習での参加者が増加傾向にあり、引き続き受け入れ態勢の整備に努める。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>郷土の近代産業である多喜浜塩田の文化を後世に伝えるために、すべての世代が協力し、その発掘と保存・継承を図ることは、人と地域の力で豊かな心を育み、学びあうまちづくりに繋がることから、本事業を継続する。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>令和6年度は市内小学校のふるさと学習(塩田学習)の受け入れを拡充し、参加者が昨年の3倍と大幅に増加したため、目標値を上回る参加者数となった。また、令和6年10月には、愛媛大学とJR四国が連携協定し企画した地域観光チャレンジツアー『新居浜を支えたもう一つの産業～多喜浜の塩田とは?～』が実施された。枝条研修の実施、塩田学習のマニュアル整備により、事業の中心を担う後継者の育成に努めており、多喜浜塩田文化の継承を図っている。</p>							

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)			数値			
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				